

子どもの未来を考える町民のつどい

入場無料でどなたでも参加できますので、お問い合わせの上ご来場ください。



うす ざわ 白澤 みさき

profile

平成10年10月8日生まれ、大槌町出身。
幼少の頃より数々の民謡大会で入賞。東日本大震災後の慰問活動が音楽関係者の目に止まり、平成24年7月25日シングル「故郷（ふるさと）～Blue Sky Homeland～」でデビュー。「第45回日本有線大賞・新人賞」「第54回日本レコード大賞・新人賞」「第27回日本ゴールドディスク大賞・ベスト演歌/歌謡曲ニューアーティスト」などを受賞し、東北の風土に根ざした独自のポップス「里唄」の紡ぎ手として注目を集めている。

日時 2月22日(日) 13時30分～

場所 葛巻小学校体育館

- ◆オープニング 13時30分～
保育園児によるバイオリン演奏「メリーさんの羊」
- ◆表彰 13時40分～
教育委員会表彰、三浦梧楼賞、読書感想文コンクール
公民館図書多読賞、町民俳句コンテスト
- ◆実践発表 14時35分～
江刈小学校PTA活動紹介
- ◆講演 14時50分～
演題 「子どもの未来を考える家庭教育」
講師 県立生涯学習推進センター所長 佐藤 公一 氏
- ◆白澤みさきミニライブ 15時40分～
いわて国体テーマソング「笑顔の賛歌」ほか
- ◆お楽しみ抽選会 16時10分～
ワインや乳製品など町の特産品が当たります。

☎教育委員会 ☎66-2111 内線 276



1 リーダー交流会に参加した生徒全員で記念撮影 2 初めてのスキーにおっかなびっくり 3 歓迎会で披露したエイサー 4 最終日、見送りに来た町内の中学生と握手を交わす訪問団 5 わんこそばにも挑戦

姉妹町村 中学生交流

きたなかぐすく
北中城村から中学生が来町

葛巻の冬を存分に満喫

1月6日から9日まで、姉妹村の沖縄県北中城村から北中城中（徳村永盛校長 生徒530人）の生徒12人と引率者4人が訪れ、スキーや牧場体験などで葛巻の冬を満喫しました。

7日は、葛巻中体育館や森のこだま館などで、町内3中学校の生徒とリーダー交流会を行い、各学校の紹介とエイサーや神楽などの郷土芸能を発表し合いました。このほか、ひつつみやへつちよこ団子作り、レクリエーション、各自が作成した名刺の交換などで交流を深めました。翌8日は、平庭高原スキー場でスキーを体験。町内の中学生26人も参加し指導に当たりました。

最終日の9日には、グリーンテージなどで町内の中学生と別れのあいさつを交わした後、くずまき高原牧場を見学。生まれたばかりの羊の赤ちゃんと対面し、その可愛らしさに感動していました。このほか、盛岡市でわんこそばを体験し、岩手の食文化を堪能しました。

北中城中の生徒たちは、初めて見る雪に感動し、沖縄と20度以上もある気温差に驚きながら皮膚が痛くなるほどの寒さを体感しました。また、文化の違いを肌で感じ、ぜひ再訪したいと話し、葛巻を後にしました。
本町と北中城村との交流は昭和60年に始まり、隔年ごとに互いの町村を訪問。今年の夏には、本町から北中城村へ中学生が訪問する予定です。

公民館 図書室から 本の紹介

●開館時間：午前8時30分～午後7時
●休館日：年末年始



『将来の学力は10歳までの読書量で決まる!』
松永 暢史 作

東大生の多くが幼少期、絵本の読み聞かせをたくさんしてもらっていた。読解力は学力の基盤であり、それを培うのが読書。地頭が作られる10歳くらいまでに、どれだけ本を読んだか読んでもらったかで、その後の学力に大きく影響を及ぼす。受験のプロの著者が、「読むだけで頭が良くなる」厳選本145冊を紹介!



『いのちの花 捨てられた犬と猫の魂を花に変えた私たちの物語』
向井 愛実 作

知ってますか？ 年間数十万頭の犬や猫が人間の身勝手な理由で殺処分されていることを。処分された犬や猫の骨は「ゴミ」として扱われ捨てられているということ。そんな不幸な動物たちを救いたいと、犬や猫の骨を土に混ぜ、花を咲かせて命を蘇らせた女子高生たちの感動の実話。



『死に支度』
瀬戸内 寂聴 作

「死に支度」は「生支度」。92歳の現役作家であり僧侶の著者。誰よりも濃く深く生きてきた著者は卒寿を機に「いつ死んでも悔いはない。毎日が死に支度」との思いで、これまでの人生を振り返り、出会ってきた人々の死にざまを交えながら、自らの死に方を考えていく。そして最後にたどり着いた、意外な境地とは？ 新たな生を考える知恵の書です。